

IV 地域全体で子供を守り育てる環境づくりの推進

① 地域を支える次世代の人づくり

- 異年齢による青少年組織である「かごしま地域塾」を県内全域へ展開し、学習活動や体験活動、精神鍛錬等を通じて、郷土に誇りを持ち、心身ともにたくましい子供を育成します。
- 地域社会に蓄積された様々な知恵を生かし、学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成のための活動を推進し、地域を支える人材を育成します。
- 様々な地域での活動の中核となり、コーディネートできる中高校生・青年層のリーダー育成や大人の指導者の養成を図ります。
- 本県の偉人の足跡や教育的風土、伝統を生かした、幅広い視野と高い見識を養う取組等を通して、様々な分野で地域社会をリードする人材を育成します。
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することにより、地域学校協働活動を更に充実させ、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりを推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○かごしま地域塾推進事業 ▶地域塾への活動支援助成 ▶優れた地域塾の認証 ▶かごしま地域塾活動活性化セミナー	1,729	※青少年男女 共同参画課
○社会教育指導者養成事業 ▶社会教育関係団体指導者等研修会 ▶ジュニア・リーダー研修会	443	社会教育課
○郷土教育推進事業 ▶鹿児島県の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」(再掲) →p. 20 ▶かごしま青年塾運営事業	4,257 2,191	〃 〃
○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業	827	〃
○社会教育関係団体の育成・支援	5,214	〃
施策予算額計	14,661	

【主な事業】

○ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業 (827千円)

学校と地域住民の連携・協働を進め、一体となって子どもたちの成長を支えていく体制を構築するため、地域とともにある学校づくりと、学校を核とした地域づくりを推進する。

- ▶鹿児島県 CS・地域学校協働活動推進委員会(年2回)の開催
- ▶かごしま CS・地域学校協働活動研修会(県内3か所)の開催
- ▶かごしま CS・地域学校協働活動関係課連絡会(年2回)の開催
- ▶広報・啓発活動(広報啓発資料の作成等)
- ▶県立学校へのコミュニティ・スクールの導入(モデル校)

○ かごしま青年塾運営事業(2,191千円)

これからの鹿児島を担う青年層を対象に、各界で活躍する経営者やリーダー等との交流や現地での研修、ワークショップを通して、郷土の発展を支えようとする人材を育成する。

- ▶講演、現地研修、交流会、ワークショップ等



地域を支える次世代の人づくり

本県の教育的な風土や伝統

～地域全体で子どもたちを育てるといふ
伝統的な地域の教育力～

郷土に誇りを持ち、心身ともに
たくましい子供の育成

かごしま地域塾推進事業

家庭・学校・職場・地域が
一体となった青少年の健全育成

「青少年育成の日」の取組 (毎月第3土曜日)

地域での活動の中核となる
リーダー・指導者の養成

社会教育指導者養成事業

- 社会教育関係団体指導者等研修会
- ジュニア・リーダー研修会

様々な分野で地域社会を
リードする人材の育成

郷土教育推進事業

- 鹿児島県の未来を担う志を育む事業
「かごしま 夢 有為塾」
- かごしま青年塾運営事業

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

地域とともにある学校づくり コミュニティ・スクール

(学校運営協議会制度を導入した学校)



学校を核とした地域づくり かごしま地域学校協働活動

現 状

- 地域住民同士の結びつき
- 助け合いの精神
- 教育を大事にする伝統
- 各種団体等による子供の育成活動

課 題

- 少子化による青少年を主体とした団
体会員の減少
- 部活動やスポーツ少年団との両立
- 新規学卒者の県外流出

② 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり

- 更なる地域ぐるみによる児童生徒等の安全確保に努めるため、地域のボランティア団体等と一体となった取組を推進します。
- 市町村教育委員会、関係機関及び関係団体等との連携を強化して、地域全体で子供の安全を見守る体制を整備します。
- 学校において安全教育や安全管理を推進する立場にある教職員等に対する講習会等の充実を図ります。

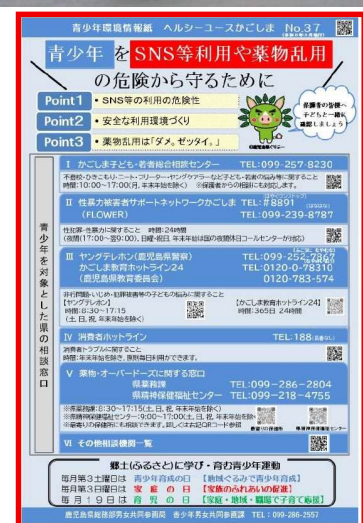
事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○地域ぐるみ学校安全体制推進事業	11,098	保健体育課
○「走る子ども110番」による児童生徒の安全確保	—	〃
▶児童生徒の安全に対する県民の意識の高揚		
▶外勤中の県職員による通学路の安全確認と緊急時の対応		
○通学路を中心とした「安全マップ」の見直しと活用	—	〃
○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業 (再掲)→p. 74	827	社会教育課
○青少年環境づくり推進事業	1,296	※青少年男女 共同参画課
施策予算額計	13,221	

【主な事業】

- **地域ぐるみ学校安全体制推進事業(11,098千円)**
学校管理下における事件・事故に対して、家庭や地域の関係機関・団体及び地域ボランティア等と連携しながら、地域社会全体で学校の安全確保に取り組む体制を整備し、児童生徒が安心して教育を受けられるよう各種の取組を行う。
 - ▶スクールガード・リーダーを配置する市町村への助成
(スクールガード・リーダー 35市町村 76人)
 - ▶スクールガード・防犯ボランティア等研修会の開催
(県内8会場5～6月に実施)



- **青少年環境づくり推進事業(1,296千円)**
有害環境から青少年を守るため、立入調査、青少年環境づくり懇談会及び青少年保護育成審議会の開催など、学校や地域、関係団体等と連携した環境づくりを推進する。
 - ▶条例に基づく立入調査の実施
 - ▶青少年環境づくり懇談会の開催(県内7地域)
 - ▶青少年環境情報紙「ヘルシーユースかごしま」発行
(10,000部)



② 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり

(保健体育課・社会教育課・青少年男女共同参画課)

【令和8年度予算額 13,221千円】

安全で安心な学校を確立するための体制の整備
 ～ 学校内及び登下校時における児童生徒の安全対策の取組 ～

学校の不審者対策

学校保健推進事業

- 教職員
 - ・来校者への対応（記名、ネーム着用）
 - ・不審者侵入対応訓練
 - ・校内巡視
 - ・緊急連絡体制
- 児童生徒
 - ・不審者侵入避難訓練

家庭の取組

- 教職員
 - ・通学路安全点検、巡回（長期休業中等）
- 児童生徒
 - ・「いかのおすし」⇒ いかない
のらない
おおごえでさけぶ
すぐににげる
しらせる

委嘱
密接な連携

地域ぐるみ学校安全体制推進事業

スクールガードの養成

- （スクールガード・防犯ボランティア等研修会）
- ・県内8会場で開催
 - <講義内容>
 - ・不審者等への対応
 - ・通学路の安全点検の行い方
 - ・見守りの行い方

スクールガード・リーダーの配置

- 〔警察官OB等防犯の専門家〕
- ・配置する市町村への補助
 - <活動内容>
 - ・学校、通学路の安全確認及び評価・指導
 - ・スクールガードへの指導

地域の対応

- 〔保護者、防犯ボランティア等地域住民〕
- ・登下校時の子どもの見守り
 - ・学校や通学路の安全点検の実施
 - ・スクールガード・防犯ボランティア等研修会への参加など、県下全小学校区での学校と一体となった協力体制

児童生徒の通学時の安全確保

- 学校の取組
 - ・学校安全計画に則った防犯・交通安全教育
 - ・通学路安全マップを活用したKYT指導
 - ・登下校時の安全指導
 - ・中核となる教員の位置付け
- 交通安全、防犯に対する教職員の指導力向上
 - ・交通安全教室
 - ・防犯教室

※地域の情報・連絡体制

- ◇子ども110番の家
- ◇青色パトロール
- ◇ながら見守り
- ◇県警あんしんメール

参考：少年非行未然防止のため、スクールサポーターを配置

対策の必要性

■その他の主な事業

- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進事業
- ・青少年環境づくり推進事業

子どもが犠牲となる事件・事故の未然防止
 （学校内への不審者侵入や通学時の児童生徒の事件・事故）

③ 家庭教育支援の充実

- 家庭教育支援条例制定の趣旨を踏まえ、家庭教育の自主性を尊重しつつ、家庭の教育力を高めるため、地域ぐるみで子育てを支援する基盤の整備に努めます。
- 子供を育てる上で不安を感じる等、身近に相談相手がない状況にある保護者を、乳幼児期から就学期以降にわたり切れ目なく支援するため、家庭教育支援員等の人材養成及び活用を図ります。
- 家庭教育を支援するための学習機会の提供や相談体制の整備を図るとともに、家庭教育に関する情報提供に努めます。
- 市町村、学校・家庭・地域、保健福祉関係機関、企業等と連携・協働し、家庭教育支援を推進します。

事業名と事業内容等	予算額(千円)	所管課
○地域で支える家庭教育推進事業	4,387	社会教育課 義務教育課
○幼児教育の充実(再掲)→p. 41 ▶幼稚園教育課程研究協議会 ▶保育技術協議会	—	—
○家庭学習マイゴールチャレンジの推進(再掲)→p. 32 ▶学校と家庭が連携し、児童生徒の学習習慣を身につける取組	—	—
○道徳教育総合支援事業(再掲)→p. 14 ▶心の教育振興会議 ▶道徳教育フォーラム	8,933	—
○いじめ、不登校、情報モラル等についての広報・啓発(再掲)→p. 16	—	高校・義務教育課 教育DX推進室
○「郷土に学び・育む青少年運動」推進事業	2,975	※青少年男女 共同参画課
○家庭児童相談室設置事業	18,159	※子ども福祉課
施策予算額計	34,454	

【主な事業】

- **地域で支える家庭教育推進事業(4,387千円)**
地域における効果的な家庭教育支援活動を推進するため、家庭、学校、地域、企業等の様々な機関・団体が連携し、学習機会の充実や家庭教育支援に関する人材の養成、広報・啓発活動等を実施する。
 - ▶家庭教育推進委員会(年2回)
 - ▶家庭教育学級長等研修会(阿久根市、和泊町)
 - ▶参加型学習による家庭教育支援研修会
つながる広場「かごスマイル」
 - ▶家庭教育支援員研修会(鹿児島市、奄美市)
 - ▶家庭教育支援モデル市町村への助成(家庭教育アドバイザー設置を含む)
 - ▶広報・啓発資料の作成・配布
 - ▶家庭教育支援キャラバン「親子すくすくフェスタ」の実施(霧島市)



③ 家庭教育支援の充実

(社会教育課・義務教育課・高校教育課・教育DX推進室・青少年男女共同参画課・子ども福祉課)

【令和8年度予算額 34,454千円】

家庭教育支援の充実

地域ぐるみの家庭教育支援

家庭

連携・協働

市町村

保健福祉関係機関

学校

地域

企業

地域ぐるみで子育てを支援する基盤の整備

- 家庭教育支援員等の人材養成及び活用
- 学習機会の提供
- 情報提供
- 相談体制の整備
- 「家庭の日」の取組

家庭教育支援の気運の醸成

県教育委員会の取組

<地域で支える家庭教育推進事業>

- ・ 推進体制の整備
- ・ 家庭教育に関する学習機会の提供
- ・ 家庭教育支援に関する人材の養成・活動の場の創出
- ・ 関係者の連携した家庭教育支援活動の推進
- ・ 家庭教育に関する広報・啓発
- ・ 家庭教育について企業の理解促進

<幼児教育の充実>

- ・ 保育技術協議会
- ・ 幼稚園・小学校教育課程研究協議会

<家庭学習マイゴールチャレンジの推進>

- ・ 学校と家庭が連携し、児童生徒の学習習慣を身につける取組

<道徳教育総合支援事業>

- ・ 心の教育振興会議
- ・ 道徳教育フォーラム

<いじめ、不登校、情報モラル等についての広報・啓発>

<郷土に学び・育む青少年運動>

<家庭児童相談室設置事業>

背景

家庭を取り巻く環境の変化

共働き家庭の増加

ひとり親家庭の増加

身近に相談相手がいない状況

地域社会のつながりの希薄化

保護者の孤立